

自民 都民ファ 公明が賛成 反対は共産 立民 なぜ今、独法化？ 疑問に答えないまま条例案を可決



コロナ第6波は将来必ずやってくると言われています。5波では医療にかかることなく44人の方が在宅で命を落としました。9月都議会は、このような在宅死を二度と出さないためにはどうすればよいのか。この問題こそが9月都議会の出発点になるべきでした。しかし小池都知事は、44人の在宅死の対する真摯な反省もなく、都立・公社病院の独法化条例案を提出しました。そして「なぜコロナ禍の今、独法化なのか」「コロナ対応で現状では対応できない不都合があったのか」など都民の疑問に最後まで答えることはありませんでした。8月27日に小池知事、経営本部長など数名

の幹部が「7月独法化」を決定したことが8日に行われた厚生委員会で明らかになりました。8月27日は第5波のピークともいえる時期でした。病院の現場は災害のような事態になっていました。そのような時に知事と幹部が集まって、現在の危機の打開策ではなく「7月独法化」を決めていたのです。都民や職員を裏切る行為としか言いようがありません。また独法化の理由として「兼業が禁止となっている」、「感染管理などの専門看護師が採用しにくい」と述べましたが、兼業禁止が理由で採用できなかったケースは1件！ 必要とされる専門看護師の数も明確に答えることはできませんでした。独法化は今後、中期計画の策定などのプロセスをへて、最終的には総務省の認可が下りて決定となります。まだまだ独法化を止める機会はあります。**#都立公社病院の独法化ではなくコロナ医療の充実をもとめます** を広げていきましょう。(病院支部HPに条例案可決に対する抗議声明がアップされています)

独法化の行方を左右する総選挙 投票に行こう！

独法化はまだ決まったわけではありません。上の記事でも紹介したように、最後には総務省の認可が下りて独法化は決定します。ですから今回行われる総選挙が、独法化の行方を左右するとも言えるのです。

都の独法化の方針は、国の医療削減政策と一体です。だから都は、先行した独法病院がうまくいっていないのを知りながら、都議会で都民の疑問に一切答えることなく、独法化しようとしているのです。都民の圧倒的な声は、コロナ医療の充実です。選挙でその声を政治に反映させましょう。

#命と暮らしを守る政治へ



#わたしも投票します

発行 都庁職病院支部

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 第二庁舎32階 直通03-3349-1711 FAX03-3349-1713
E-mail: mail@t-byoinsibu.jp URL: http://www.t-byoinsibu.jp

@Byoinsibu_Tocho 都立病院のお役立ち情報を発信しています
あなたの職場の健康度は？いますぐチェック →



LINE@
都庁職病院支部

職場の悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です



都立病院で働くしぶ子さんが
つぶやいています。
共感することもあるはず！

#看護師のしぶ子さんと検索